

氏名	廣越 久美子
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第 3089 号
学位授与の日付	平成18年3月24日
学位授与の要件	医歯学総合研究科病態制御科学 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Increase of Serum Angiopoietin-2 During Pregnancy Is Suppressed in Women With Preeclampsia (妊娠時血清アンジオポエチン-2濃度増加の、妊娠中毒症における低下)
論文審査委員	教授 成瀬 恵治 教授 大江 透 助教授 那須 保友

学位論文内容の要旨

血管新生は胎盤形成において重要な役割を果たす。近年妊娠中毒症における血清中血管新生関連因子発現変化等の関与が報告されてきた。今回我々は同症患者において、VEGF 存在下で血管新生を促進する Angiopoietin-2 [Ang-2] (Angiopoietin-1 [Ang-1] のアンタゴニスト)、Ang-1 の受容体である Tie-2 の血清濃度を ELISA 法にて測定し、妊娠中毒症妊婦、対照健常妊婦、産褥期女性、非妊娠健常女性の4群に分け、各パラメーターとの相関を検討した。本研究にて正常妊娠において認められる血清中 Ang-2 濃度上昇が妊娠中毒症患者にて抑制され、さらに同群で血清 Ang-2 濃度と一日尿蛋白量との間に有意な負の相関が認められた。これらの結果から Ang-2 の胎盤形成への関与が示唆され、血清 Ang-2 濃度測定は妊娠中毒症の診断・管理に有用である可能性が示唆された。

論文審査結果の要旨

血管新生は胎盤形成において重要な役割を果たす。本研究では血管新生関連因子の一つである Angiopoietin-2 の妊娠中毒症患者の血清濃度を測定したところ、正常妊娠女性に比して血清濃度は有意に低値であり、さらに一日尿蛋白量と負の相関が認められた。これらの結果から Angiopoietin-2 が胎盤形成に関与していることが示唆され血清濃度測定が妊娠中毒症の診断・管理に有用である可能性を示した価値ある業績である。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。